

# 平成27年度 学校評価書

平成28年 2月 1日  
浜松学院大学附属幼稚園  
園長 金子容子

## 1 本年度の重点目標

- ・ 感性豊かな子どもの心を育むために
- ・ 子どもの発達理解とカリキュラムの検討および実践
- ・ 安全管理と生活環境の見直し
- ・ 子育て新制度に伴う幼稚園将来構想

## 2 自己評価結果に対する学校関係者評価

※ 自己評価は、A（十分に成果があった）、B（成果があった）、C（少しの成果があった）、D（成果がなかった）の数値で表すこと

評価	評価項目	具体的な取り組み	改善策	学校関係者評価委員の意見	評価
B	<b>保育の計画性</b> ・ 園の教育課程を把握し指導計画を作成する ・ 指導計画に基づいた環境構成を行う ・ 自分の保育を日々反省、評価している	・ 全体研修で教育課程の説明と実践方法を話し合い共通理解する ・ 子どもの遊びの要求に合わせた指導案作成と環境設定を行う ・ 保育の反省を日案だけでなく子どもひとり一人の個人観察記録	・ 学年内での共通認識を深め、同等の力で行事に取り組む ・ 子どもの豊かな感性を育む季節感のある環境構成を行う ・ 子どもの発達や育てたい力を見通した振り返りができる	・ 園目標に則った保育が実践されている。時代が変化する中で、教育理念はそのまま大事に継承しつつ、子どもの実状や保護者ニーズに柔軟に対応しているところが良い	A

		<p>で丁寧に振り返りを行う</p>	<p>よう全体研や学年研でのカンファレンスを深める。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・個別の支援を要する児について個別指導計画を立て、より適切な発達支援を行う。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・特別な支援を必要とするお子さんへの適切な教育が評価できる。今後も発達に特徴があるお子さんの受け入れと、どんな子も生活しやすい環境作りに取り組んでほしい</li> </ul>	
B	<p><b>保育の実践力と環境設定</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・子どもの健康と安全を意識している</li> <li>・子どもの衛生環境に配慮し病症の感染予防に努める</li> <li>・子どもひとり一人の思いや発見を大切にしながら活動を進める</li> <li>・発達に応じた保育活動をし、子どもは満足感や達成感を感じている</li> <li>・子どもの実態や状況に即した環境構成をしている</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地震津波警報機を設置し、いち早い情報入手と対応を行う</li> <li>・園バス3台と全保育室に除菌霧化機と空気清浄器を設置した</li> <li>・子どもの言動をきちんと受け止め、クラス全体にその子の良さとして伝えることを心掛ける</li> <li>・発達理解を的確にとらえるため臨床心理士からの助言も受け、保育に生かしていく</li> <li>・特に自由な遊びの時間の保障と環境作りの工夫に力を入れる</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・教師ひとり一人が常に危機管理を持って生活し、叱嗟の事態にも冷静なマニュアル実行ができるよう訓練を積む</li> <li>・空気清浄器などの衛生機器の使用と同時に、園内の清掃を丁寧にいき清潔に保つ</li> <li>・教師ひとり一人が専門知識を深めるため、話し合いや研修参加機会を増やす</li> <li>・環境、教材作りは、教師のアイデアや行動力が必要不可欠であり、互いに教え合いより良いものを提供する</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・園内外の安全対策や衛生管理が充実している。日頃の遊びの中で子ども自身が危険な目に遭いながら、危険を予測する力や危険回避能力を培うことも念頭に置き、活環境も検討すると良い(園庭の起伏や自然体験ができるスペース等の設置)</li> <li>・子どもへの細やかな観察と関わりが子どもの生き生きとした園生活に結びついていることが分かる</li> <li>・田植えや稲刈り等、自然環境を取り入れた保育内容が良いので、今後も自然を生かせるような工夫と自由な遊びの充実を実践してほしい</li> </ul>	A

B	<p><b>教師の資質とチーム力</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・教師としての能力、姿勢、義務を果たしている</li> <li>・決められた役割や仕事は責任を持って実施する</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・教師の保育や指導内容に問題がある場合は個別に話し合い、具体的な方法や改善策を教える</li> <li>・日頃から自分の感性を磨き子どもへの共感性を養う努力をする</li> <li>・教師ひとり一人が課せられた役割に主体的な姿勢で取り組むと同時に、互いに声を掛け合って前向きな考えで協力していく</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・職務内容に困難が生じた場合はいつでも相談できる雰囲気の中、解決と改善を図る</li> <li>・互いに良い刺激を受け合い人間性を高める</li> <li>・職員が個々に自分の仕事の責任を自覚すると共に、共同作業の中で新たな保育観や充実感を味わう</li> <li>・それぞれの職務内容を明確にし、安心して任務が遂行できる園務分掌を作成する</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・教員のレベルが高い。教師としての努力と勤勉な姿勢が良い。今後も先生自身が保育を楽しみながら、より良い教育を展開してほしい。職員間の連携や共通認識が大切なので、互いに建設的な意見を出し合いながら成長し、良い組織力を作り上げてほしい</li> </ul>	A
B	<p><b>保護者への対応</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・子どもの様子を学級通信でクラス集団の成長やその意味を伝える</li> <li>・個人面談やクラス懇談会はあらかじめ伝達内容を書き留め、意味あるものとする</li> <li>・保護者からの意見や要望を聞き入れ的確な対応をする</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学級通信やお便り帳の内容の充実を図るため、互いに読み合いより良い書き方を模索する</li> <li>・個人観察記録から時に伝えたい事柄を抽出し、保護者に具体的な姿をあげながら話をする</li> <li>・保護者から相談を求められた際は、その都度丁寧に対応し、保護者の要求を受け止め改善する</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学級通信の枚数や、お便り帳の受け渡し回数に差が出ないように各自心掛ける</li> <li>・クラス懇談会や面談で充実した話し合いが進むよう、学年共通の議題を設定したり、事前に記録を整理したりする。</li> <li>・子どもの教育にとって大切な事柄を基準に意見広聴すると同時に、保護者の思いに共</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・園と保護者。先生と子ども。保護者同士。それぞれが相互に良い関係を築きながら子どもの成長を見守っていくことが大切である</li> </ul>	A



	<ul style="list-style-type: none"> <li>・専門書や雑誌などを、積極的に購読し、向上する</li> </ul> <p><b>外部アンケート</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・幼稚園に行くことを楽しみにしている</li> <li>・規則正しい生活を送る</li> <li>・人とかかわる力が育ってきている</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・子どもたちを一人ひとり温かく受け止め、楽しく安心した生活を作る</li> <li>・先生や友達との楽しい心の交流を様々な場面で体験させていく</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・書籍を読む (実践書に限らず活字に触れる。互いに感想や紹介し合う)</li> <li>・子どもの生活や遊びを、子どもの発達をおさえた視点で反省していく</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・付属幼稚園のよき伝統を継続しつつ新たな保育要素も取り入れている。今後のより良い発展に期待する。</li> <li>・保護者アンケートでは保護者一人ひとりの意見に丁寧な回答をしている点が良い。</li> </ul>	A
--	---	---	--	--	---